

ルネッサンス戦略 重要業績評価指標（KPI） 進捗状況

上段：計画に記載した目標
下段：実績（又は見込み）

A 目標を達成しているもの
B 目標未達成
C その他（現時点で統計上実績値把握が困難なもの等）

資料 4

ルネッサンス戦略基本方針	ルネッサンス戦略プロジェクト	取組中のプロジェクト	基本方針KPI	事業開始前	単位	KPI					KPI増加分累計	2015 KPI達成	2016 KPI達成	2017 KPI達成	庁内評価 (2017年度の実績)	庁内検証 (2018年度の展開)
						2015 1年目	2016 2年目	2017 3年目	2018 4年目	2019 5年目						
① うきはの資源活用と新たな雇用の創出	1 藤波ダム周辺地域産業連携空間形成プロジェクト		高校卒業世代（15歳～19歳の年齢階層）における市外への流出率を、現状の17.4%から2019年には15.4%へ低下させる。	17.4	%	17.0	16.6	16.2	15.8	15.4	-2.0	B	B	B	うきはブランドを確立し、農産品の価値を高めるため、「フルーツ王国」や「うきはテロワール」といったブランド戦略を展開するとともに、地域総合商社（DMO）を立ち上げて外販事業を進めました。また、商工会とともに市内で創業を希望する者やU I Jターン者などへU-BiCでの創業支援や移住定住に関する取り組みを行いました。また、J Aにじと出資するレインボーファームでの新規就農支援や林業の振興を図るビジョン（計画）を策定し、新たな雇用の創出に向けて、取り組みを進めました。	地域資源を活用した雇用確保の取り組みは、着実に進めているが、KPI指標である高校卒業世代の流出を抑制するまでに至っていません。短期的なKPIの達成は厳しい状況にあるが、現在の取り組みを止めることなく、三春、鷹取、久留米・うきはの各工業団地への企業進出や市内企業の景気拡大に繋げていきます。また、U-BiCや総合商社、レインボーファーム等を有効活用するとともに、6次産業化を進めるための支援施設を新たに整備して、しごとの維持・拡大に取り組みます。
	2 うきはブランド形成プロジェクト	○														
	3 温泉・健康ツーリズムプロジェクト	○														
	4 地域資源を宝にするのだ！わたしの起業プロジェクト	○														
	5 うきはの“しごと”拡大プロジェクト	○														
	6 うきはの“農業・林業”拡大プロジェクト	○														
	7 地理的環境分析に基づく農業等の戦略的ブランド化プロジェクト	○														
② 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み	1 ジョブマッチング空き家対策プロジェクト	○	うきは市へのIターン者を、現状の年間30人から2019年には50人に増加させる。	30	人	34	38	42	46	50	20	A	A	A	地域コミュニティの再生については、小学校区単位の自治協議会活動が活発化してきており、避難訓練教育や各部会運営事業など地域の取り組みを進めました。市外からの移住も増えつつあり、定年後の移住者だけでなく、生産年齢人口世代の移住による市内での起業にもつながってきています。	順調にKPIを達成しており、引き続き国の交付金や企業版ふるさと納税制度に基づく企業からの寄附などを活用しながら、コミュニティ活動を推進します。また、情報発信を継続して人の呼び込みを図るとともに、空き店舗や空き家を活用してまちの再生に取り組みます。
	2 災害に強い安全安心なまちづくりプロジェクト															
	3 輝け地域の宝にぎわい創出プロジェクト	○														
	4 2020年日本書紀1300年をターゲットとしたうきはの歴史資源活用型「時空のネットワーク」形成プロジェクト	○														
③ 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市	1 子は地域の宝プロジェクト	○	うきは市の出生率を、現在の1.53から2019年には1.63まで上昇させる。	1.53	%	1.55	1.57	1.59	1.61	1.63	0.10	C	C	C	ルネッサンス戦略推進協議会でも子育て支援や教育環境の充実が求められており、寺子屋事業やリトミック教育、ウッドスタート事業、不登校児童生徒対策、中学校部活動外部指導者支援など多様な教育機会の提供に取り組みました。（沓崎自然体験事業は台風接近のため中止）また、子ども未来学部を含む市民大学や女性が活躍するための知識習得講座を開催したほか、オランダの財団との文化資本連携を進めました。	KPIの値については、国立社会保障・人口問題研究所の公表待ちです。引き続き、より魅力ある寺子屋事業やリトミック教育を展開するとともに、小学校外国語活動やタブレットを使ったICT教育の推進等に取り組みます。また、食育や木育を推進し、うきはの資源を次世代に伝え、子どもの頃からうきは市に愛着を持つ市民の醸成に取り組みます。あわせて保育士の処遇改善や人材確保に取り組み、子育てを支援します。
	2 うきはっ子夢・学力向上プロジェクト	○														
	3 市民総出の健康増進プロジェクト	○														
	4 健康うきはプレミアムエイジプロジェクト	○														
	5 重点道の駅整備プロジェクト	○														
④ 時代にあつたうきはの地域づくりと広域的な地域間連携	1 個性ある地域・人づくりプロジェクト	○	現在年間15件（内人的交流を伴うもの：7件）実施されている広域的連携事業（単なる会議等は除く）を、2019年までにスクラップ・アンド・ビルドを含め、全体として20件（内人的交流を伴うもの：10件）に拡大する。	15 (7)	件	16	17	18	19	20 (10)	5 (3)	A	A	A	2017年度は施設整備を中心に事業を行いました。拠点整備交付金を活用して調音の滝公園施設を整備するなど、八女市とのフルティランド構想の具現化を進めました。また、推進交付金を活用して屋形古墳群の整備を通じた耳納北鹿の開発や筑後川温泉周辺で街路灯工事による筑後川流域の空間形成を進めました。県事業でも久留米・うきは工業用地造成や八女市への合瀬耳納トンネル工事が進められ、地域づくりが進みました。	国を挙げた地方創生の流れもあって、各種関係機関との連携を質・量ともに深めることができています。引き続き、広域的な地域間連携に取り組み、自治体間だけでなく、大学やNPO、農林商工業などの産業界すべてのステークホルダー（利害関係者）がWin-Winとなる関係を構築し、地域一体となってプロジェクトに取り組んでいきます。
	2 福岡トライアングル都市圏形成プロジェクト															
	3 耳納北麓連携プロジェクト	○														
	4 生葉の未来創造プロジェクト	○														
	5 筑後川上中流域ネットワークプロジェクト															
	6 超広域市町村ネットワーク強化プロジェクト															